

[087_04] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/4370929>

出版情報：法政研究. 87 (4), 2021-03-15. Hosei Gakkai (Institute for Law and Politics) Kyushu University
バージョン：
権利関係：

九州大学法政学会

講演会ほか

二〇二〇年九月一〇日(木) オンライン開催

「第一回オンライン情報法セミナープラットフォームフォーラム」
ピジネス ―何が、なぜ問題か―

特別教育プログラム(一)

ロー・アンド・プラクティス講演会

二〇二〇年七月三十一日(金) オンライン開催

「『事実』と手続の重要性」Winnny事件を題材に」

講師 遠山大輔(京都弁護士会)

特別教育プログラム(二) LPセミナー

法学部一年生向法律入門セミナー オンライン開催

講師 武富一晃(福岡地方裁判所裁判官)

佐藤祐矢(福岡地方検察庁検察官)

浦川雄基(弁護士)

一坊寺麻希(弁護士)

野上幸久(福岡地方裁判所裁判官)

久富隆一(福岡高等裁判所事務官)

羽部紗耶香(弁護士)、沖島誉章(民間企業法務

部員)、平山賢太郎(九州大学准教授)

講師 江口清貴(一般財団法人情報法制研究所専務理

事)、後藤晃(東京大学名誉教授、元・公正取引委員

会委員)、成原慧(九州大学法学研究院准教授(情報

法))、板倉陽一郎(弁護士)、実積寿也(中央大学総

合政策学部教授、福永啓太(アリックスパートナー

ズ・アジア・エルエルシー デイレクター・元公正取

引委員会企業結合課企業結合調査官)、寺西直子(公

正取引委員会事務総局 経済取引局総務課 デジタル市

場企画調査室長)

平山賢太郎(九州大学法学研究院准教授(経済法))、

弁護士、元・公正取引委員会審査局審査専門官)・兼

司会

共催 一般財団法人情報法制研究所(JLIS)、情報法

制学会

二〇二〇年二月二日(水) オンライン開催

「『空飛ぶクルマ』の社会実装における社会的課題の解決

に向けて」

第一部 報告およびコメント

企画趣旨 小島立（九州大学大学院法学研究院教授）

「空飛ぶクルマ」の研究開発の現状と今後の見通し

岩熊成卓（九州大学大学院システム情報科学研究教授）

イノベーション・データ・セキュリティ 平山賢太郎（九

州大学大学院法学研究院准教授）

モビリティの発達と都市の変容——空間・人間・社会へ

のインパクト 黒瀬武史（九州大学大学院人間環境学
研究院准教授）

コメント 野口和彦（JST-RISTEX ELSIプログラムア

ドバイザー／横浜国立大学先端科学高等研究院リスク

共生社会創造センター客員教授）

第二部 パネル討論・質疑応答

小島立（九州大学大学院法学研究院教授）、岩熊成卓（九

州大学大学院システム情報科学研究教授）、平山賢太

郎（九州大学大学院法学研究院准教授）、成原慧（九州

大学大学院法学研究院准教授）、黒瀬武史（九州大学大

学院人間環境学研究教授）、藤田雄飛（九州大学大

学院人間環境学研究教授）、陳思聡（九州大学大学

院人間環境学研究教授）、三和正人（九州大学学術

研究・産学官連携本部研究推進主幹）、野口和彦（JST-

RISTEX ELSIプログラムアドバイザー／横浜国立大学

先端科学高等研究院リスク共生社会創造センター客員教

授）

※JST/RISTEX ELSIプログラムプロジェクト企画調

査「空飛ぶクルマ」の社会実装における社会的課題解

決についての基礎的検討』の一環。

共催 九州大学人社会系協働研究・教育コモンズ、九州大

学大学院人間環境学府「アジアの都市と市民」多分野

連携プログラム

ローマ法研究会

二〇二〇年一月九日（木）

D. 2. 15. 12 Cels. 3 dig. 13 Macer 1 ad l. vices hereditar.

報告者 菅尾暁（九州国際大学）

二〇二〇年一月二三日（木）

D. 2. 15. 14 Scaev. 2 resp.

報告者 五十君麻里子（九州大学）

二〇二〇年七月二三日（木）

「続・占有は事実か法か——Paul. D. 34. 2. 4. 1使用取得——」

報告者 石川真人 (久留米大学)

二〇二〇年七月三〇日 (木)

「国際法学説史における慣習法観念の多様性」

報告者 小栗寛史 (放送大学 (日本学術振興会特別

研究員P D))

二〇二〇年一〇月一日 (木)

D. 2. 15, 15 Paul. 1 sent.

報告者 梁田史郎 (九州大学)

二〇二〇年一〇月一五日 (木)

D. 2. 15, 16 Hermog. 1 iuris epit.

報告者 菅尾暁 (九州国際大学)

二〇二〇年一〇月二九日 (木)

D. 2. 15, 17 Pap. 2 quaest.

報告者 五十君麻里子 (九州大学)

二〇二〇年一〇月二二日 (木)

D. 16. 2. 1 Mod. 6 pand.; 2 Iul. 90 dig.; 3 Pomp. 25 ad Sab.

報告者 梁田史郎 (九州大学)

二〇二〇年一〇月二六日 (木)

D. 16. 2. 4 Paul. 3 ad Sab.

報告者 菅尾暁 (九州国際大学)

二〇二〇年一〇月一〇日 (木)

D. 16. 2. 5 Gal. 9 ad ed. provinc.; 6 Ulp. 30 ad Sab.

報告者 五十君麻里子 (九州大学)

二〇二〇年一〇月二四日 (木)

D. 16. 2. 7 Ulp. 28 ad ed.

報告者 川島翔 (九州大学)

サヴィニー研究会

二〇二〇年一月二五日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷付録XXII I~VI

報告者 大久保憲章 (広島修道大学)

二〇二〇年二月二二日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷付録XII VII~XIII

報告者 遠藤歩 (九州大学)

二〇二〇年四月二五日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷付録XIII I~IV

報告者 梁田史郎 (九州大学)

二〇二〇年五月二三日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷付録XIII V~VIII

報告者 菅尾暁 (九州国際大学)

二〇二〇年六月二〇日 (土)

サウイニー『現代ローマ法体系』第五卷付録XIIIIX~XI

報告者 田中教雄（九州大学）

二〇二〇年一〇月二四日（土）

サウイニー『現代ローマ法体系』第五卷付録XIIIIXI~XIII

報告者 上村一則（久留米大学）

二〇二〇年一月二八日（土）

サウイニー『現代ローマ法体系』第五卷付録XIIIIXIV~XVII

報告者 野田龍一（福岡大学）

二〇二〇年一月一九日（土）

サウイニー『現代ローマ法体系』第五卷付録XIIIIXVIII~XX

報告者 三宮希（福岡大学）

九州公法判例研究会

二〇二〇年度開催なし

社会法研究会

第四八五回 二〇二〇年一月二一日（土） 西南学院大学

「EUにおける労働者のフェア・モビリティの模索——

近時の指令改正と欧州労働局設立の動向を素材に——」

井川志郎（山口大学）

「トラック運転手の運行時間外手当の割増賃金該当性——

シンワ運輸東京事件・東京高判平成三〇・五・九劳判一

一九一号五二頁」

龔 敏（久留米大学）

第四八六回 二〇二〇年二月一日（土） 九州大学

「障害法の視点から見た障害認定基準の問題点と障害年

金の将来像」

河野正輝（九州大学名誉教授）

「イギリスの育児休業と所得保障——目的の変容とねじれ」

平部康子（佐賀大学）

第四八七回 二〇二〇年三月七日（土） 西南学院大学

COVID-19感染予防のため中止

第四八八回 二〇二〇年四月四日（土） 西南学院大学

COVID-19感染予防のため中止

第四八九回 二〇二〇年五月九日（土） オンライン開催

「フランス集团的労働関係法の個人主義的構造の一考察

——ストライキ権の検討を中心に——

小山敬晴（大分大学）

「判例評釈 結婚式場運営会社A事件・東京高判平成三

一・三・二八劳判一二〇四号三一頁」

所 浩代 (福岡大学)

第四九〇回 二〇二〇年六月六日 (土) オンライン開催

「判例評釈 一般財団法人あんしん財団事件・東京高判
平成三一・三・一四労判一二〇五号二八頁」

岡本舞子 (北九州市立大学)

「アカデミック・ハラスメントの法理・序説」

野田 進 (九州大学名誉教授)

第四九一回 二〇二〇年七月四日 (土) オンライン開催

「労働契約における黙示の準拠法選択と最密関係地法
の認定 (国立研究開発法人理化学研究所事件・東京高判
平成三〇・一〇・二四日労判一二二二号八五頁)」

井川志郎 (山口大学)

「スポーツ選手の引退後所得保障——「二つの引退」と
いう視点から」

山下慎一 (福岡大学)

第四九二回 二〇二〇年八月一日 (土) オンライン開催

「フランスにおける労働組合の法的地位」

野田 進 (九州大学名誉教授)

「フランスにおける小規模企業での協定の締結方式とし
てのレフェランダム制度——その立法経緯と法的論点に
関する考察」

洪田美羽 (九州大学大学院)

第四九三回 二〇二〇年九月五日 (土) オンライン開催

「コロナ禍におけるフリーランスの所得保障」

丸谷浩介 (九州大学)

「日本国憲法上の『勤労の義務』の法的意義について」

山下慎一 (福岡大学)

第四九四回 二〇二〇年一〇月三日 (土) オンライン開催

「コロナ禍と労働契約法」

野田 進 (九州大学名誉教授)

「障害者の生活支援」

平部康子 (佐賀大学)

第四九五回 二〇二〇年十一月四日 (土) オンライン開

催

「判例評釈 国際自動車 (第二次上告審) 事件・最一小
判令和二・三・三〇労判一二二〇号五頁」

畑井清隆 (志學館大学)

「判例評釈 メトロコマース事件・最三小判令和二・一

〇・一三裁判所ウェブサイト」

小山敬晴 (大分大学)

「新型コロナウイルス感染症拡大と雇用保険制度」

山下 昇 (九州大学)

第四九六回 二〇二〇年二月五日（土）オンライン開催

報告者 若色 敦子（熊本大学）

「専門家会議体不在の保護基準改定と厚生労働大臣の裁量（名古屋地判令和二年六月二五日裁判所ウェブサイトに）」

（判例研究）
東京地判令和元年九月二七日金判一五八三号二八頁
「金商法一七四条の二第一項の『違反者』に法人が認められるか否かの判断」

山下慎一（福岡大学）

「イギリスにおける代位責任（Vicarious Liability）法理

報告者 濱村 実子（宮崎産業経営大学）

の近時の展開——リスクの多様化と管理監督機能の分散への応答」

第六九九回例会 令和二年九月一九日（土）
（研究報告）

新屋敷恵美子（九州大学）

「株主総会の決議に関するいわゆる瑕疵連鎖説についての再検討——東京高判平成三〇年九月一二日金判一五五三

九州大学産業法研究会

号一七頁——

報告者 松嶋 隆弘（日本大学）

※四月～六月に予定されていた例会は、新型コロナウイルスの感染状況等を考慮して中止した。

※七月以降の例会は全てオンラインで行った。

（研究報告）
「取締役の対第三者責任について——近時の判例の事例傾向と保護法益の視点から」

第六九八回例会 令和二年七月一日（土）

第七〇〇回例会 令和二年一〇月一七日（土）

（判例研究）

（研究報告）

松本簡判平成三〇年九月二七日消費者法ニュース一一八号

「不正会計事案における取締役の善管注意義務に関する裁判例の判断準則と改正公益通報者保護法が取締役の善

一九八頁

「個人事業主に対する悪質な勧誘と割取法の適用」

管注意義務に影響を与えると予測される改正事項について

「『D』報告書を題材として」

報告者 遠藤 元一（弁護士）

〔研究報告〕

「株主代表訴訟制度の課題―手続的側面からの検討―」

報告者 高橋 均（獨協大学）

第七〇一回例会 令和二年二月二日（土）

〔研究報告〕

「会計帳簿等の閲覧謄写請求権―法改正・制度趣旨と事例を通してみる利用実態―」

報告者 千手 崇史（近畿大学）

〔判例研究〕

東京地判平成三〇年三月二日判タ一四七二号二三四頁

「有利発行に続く少数派株主の締出しと取締役の責任」

報告者 濱村 実子（宮崎産業経営大学）

第七〇二回例会 令和二年二月一九日（土）

〔研究報告〕

「P2P保険における近時の展開と法的論点」

報告者 佐野 誠（福岡大学）

〔研究報告〕

「D&O保険と経営判断原則―ドイツ法の検討―」

報告者 牧 真理子（大分大学）

第七〇三回例会 令和三年一月二三日（土）

〔研究報告〕

「インサイダー取引と民事責任」

報告者 河野 総史（志學館大学）

〔判例研究〕

最判令和元年二月二十四日民集七三卷五号四五七頁

「合資会社の無限責任社員が退社により当該会社に対して金員支払債務を負う場合」

報告者 山崎 淳司（西南学院大学・院）

民法法研究会

二〇二〇年度開催なし

民事手続研究会

令和二年九月一九日（土）

公開原則の合意による排除の可能性

上田竹志（九州大学）

一七条移送のあり方

浅野雄太（九州大学）

令和二年一〇月一七日(土)

上訴審における法的討論について

濱崎録(西南学院大学)

令和二年一〇月一四日(土)

わが国の民事訴訟法における当事者公開主義の保障内容

池邊摩依(熊本大学)

弁護士法人の破産手続開始決定と預かり口座の信託財産性

黒木和彰(弁護士)

福岡民事訴訟判例研究会

令和二年一月二四日(金)

子の引渡しを命ずる審判を債務名義とする間接強制の申立てが権利の濫用に当たるとされた事例(最三小判平成三一年四月二六日裁時一七二三号三頁)

安井 英俊(福岡大学)

令和二年二月二一日(金)

訴訟当事者に判決の内容が了知されず又は了知する機会も実質的に与えられなかったことにより不服申立ての機会が与えられないまま確定した外国裁判所の判決に係

る訴訟手続と民訴法一一八条三号にいう公の秩序(最二小判平成三一年一月一八日民集七三卷一号一頁)

田中 悠(福岡地裁)

九州国際私法研究会

二〇二〇年度開催なし

政治研究会

二〇二〇年五月一六日(オンライン開催)

『政治研究』第六七号合評会・総会

二〇二〇年七月一八日(オンライン開催)

「特定の土地に対する権利はどのように正当化できるのか」デイヴィッド・ミラーによる領土権の議論を手がかりとして――

報告者 小野 藍(九州大学大学院地球社会統合科学府博士後期課程)

二〇二〇年一〇月一七日(オンライン開催)

「文献紹介 ベルナルル・マナン『代表制統治の原理』(仏1995、英1997)」

報告者 安武真隆（関西大学政策創造学部教授）

「マキアヴェツリとプラトーン——立法者・サヴォナローラ・プラトーン主義」

報告者 鹿子生浩輝（東北大学法学研究科教授）

二〇二〇年一月二二日（オンライン開催）

「投票と共通善——投票先の規範理論——」

報告者 蓮見二郎（九州大学大学院法学研究院准教授）

「任命制と抽選制」

報告者 岡崎晴輝（九州大学大学院法学研究院教

授・放送大学客員教授）

二〇二〇年一月一九日（オンライン開催）

「核兵器の持込み問題と原子力潜水艦の日本寄港」

報告者 中島琢磨（九州大学大学院法学研究院准教授）